

宮崎地本だより



発行元
自衛隊
宮崎地方協力本部

編集
募集課 広報班
宮崎県宮崎市東大庭
2丁目1-39

第8代 宮崎地方協力本部長に

荒井1等空佐 着任

この度、10月28日付で自衛隊宮崎地方協力本部長に着任しました荒井将人です。前職は、府中基地（東京都府中市）に所在する航空自衛隊航空支援集団司令部で法務官として勤務しておりました。

今回、九州・宮崎の地に初めて赴任し、また、初めての募集、援護等の業務に携わることとなり、改めてその任務の重責を感じる一方で、その新鮮な職場の空気感に、久しぶりに胸がドキドキしています。

この地で自分が出来ることに精一杯取り組み、本部の隊員とともに全力で任務に邁進していきたい！そんな思いで、現在勤務しております。

さらに、仕事のみならず、温暖で天候が良く、名勝地や名産品の多い宮崎を大いに満喫して宮崎を大好きになり、「第二の故郷」と胸を張って言えるようになりたいと思っております。

さて、自衛隊を取り巻く安全保障環境、特に、北東アジアでは中国の東・南シナ海に対する軍事的な進出、北朝鮮の弾道ミサイルに対する脅威や核施設に係る問題は、引き続き予断を許さない状況にあり、自衛隊としても、不断の即応態勢維持に努めていく必要があります。また、国内に目を向けても隊員の募集環境も厳しいものがあり、特に、一般曹候補生や自衛官候補生の募集については、十分な成果が現れていない状況にあります。

このような中で、自衛官の募集、援護、予備自衛官、広報等の業務を実施している当本部でも、隊員一人ひとり、精一杯の努力を続けているところではあります。

そこで私は、当本部の隊員に対する要望事項として、「明るく楽しく前向きに」を示しております。

これは、活動の成果に一喜一憂することなく、常に明るく楽しく、雰囲気の良い職場で、何事にも前向きに、失敗を恐れることなくチャレンジして欲しいという要望です。

もちろん、当本部の業務は、自衛隊の活動にご理解頂き、応援して下さいる多数の皆様のお力添えがあったことです。

各種業務の実施に際しては、関係する皆様に対して、常に「信頼と真心」を持って、誠実に取り組んで参りたいと考えております。

今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りつつ、日々精進して行く所存でありますので、どうぞ宜しくお願い致します。



各種自衛官採用試験開始

自衛隊宮崎地方協力本部は、9月22日の一般曹候補生1次及び自衛官候補生採用試験を皮切りに航空学生、防衛医科大学校生徒（医学科・看護学科）、防衛大学校生徒など平成30年度採用試験の最盛期に突入しました。今年も県市町村教育委員会への募集協力をはじめ各学校の進路指導部の教員方との募集連絡会議、募集相談員との連絡会議を通じて自衛隊の募集活動の説明をして参りました。

各関係者の方々にご理解を頂き、本年度も多数の受験者を獲得することができました。

これもひとえに貴重な情報をお寄せくださった募集相談員の皆様や学校行事等多忙な時期にも関わらず学校説明会等に貴重な時間を割いて頂いた各学校の先生方、県市町村及び協力諸団体の皆様のご協力の賜物であり、紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

宮崎地方協力本部は、体験搭乗や艦艇広報等、各種イベントを通じて自衛隊の真の姿を理解し頂くために機会を捉えて広報を行っています。

これからも引き続き県民の皆様へ自衛官募集を広報し、宮崎県から優秀な若者が入隊して頂くように地域に密着した募集に精進努力していく所存です。

最後に協力団体の皆様には、引き続き募集活動へのご理解を賜りますとともに自衛隊及び宮崎地方協力本部に対する温かいご支援とご協力を宜しくお願いいたします。



氏名 荒井 将人(あらい まさと)
 階級 1等空佐
 生年月日 昭和46年1月8日
 血液型 B型
 出身地 埼玉県
 出身大学 法政大学
 指導方針 「信頼と真心」
 要望事項 「明るく楽しく前向きに」

飯野高校、妻高校に感謝状を伝達

宮崎地方協力本部は、県立飯野高校（えびの市）と県立妻高校（西都市）において、陸上自衛隊西部方面総監感謝状の伝達式を行いました。

伝達式では、本部長から校長に対して西方総監からの感謝状を伝達後、お礼を述べられました。

記念撮影では、校長と本部長、進路指導部の先生方を交え行い、和やかな雰囲気の中撮影を終えました。

本感謝状は、学校における募集ポスターの掲示、学校説明会の実施への協力、多数の入隊者を輩出するなど、自衛隊の募集に対する多大な協力と、自衛隊の人的基盤の育成に協力を頂いた学校に対し贈られるものです。

これからも自衛隊、宮崎地方協力本部にご協力をお願いいたします。



全国初

宮崎地本

宮崎県と「退職自衛官等就職支援に関する協定」

を締結

10月18日、宮崎県庁において「宮崎県と自衛隊宮崎地方協力本部との退職自衛官等の就職支援に関する協定」締結式を行いました。

締結式では、河野宮崎県知事と植村本部長が締結書に署名して締結した後、河野知事から協定に対して「県内企業における産業人材確保のため若年者等の流出防止と転入促進に力を入れており、訓練や経験を通じて専門的な知識・技能及び礼儀や躰を身に付けている自衛官は大変有為な人材として期待している。」との言葉をいただきました。

また植村本部長は、「この協定は、自衛隊にとっても大変メリットがあり、多くの情報を頂くことで、より適した就職が可能となる。更に、再就職が安定することにより入隊者の増加が期待できる。」と述べました。



締結書を手にして記念撮影



福島高校において防災教育

9月20日(木)、日南地域事務所は宮崎県立福島高等学校において、防災に関する教育の支援を行いました。

福島高校は、地域との連携を充実させるための「地域創生学」を科目として設定しており、今回、自衛隊に防災教育の依頼があり陸上自衛隊第43普通科連隊(都城駐屯地)の隊員13名と防災に関する講話や捜索救助訓練の展示等を行いました。

また、体験型ブースを設置して救命器材の取扱いや非常食の試食体験を行って、生徒の防災意識の高揚と自衛隊の活動について理解を深めてもらう良い機会となりました。



講話を行う原口所長

今後自衛隊の被災地等における活動状況を伝えることにより、多くの高校生等に「備え」の重要性などを理解してもらえよう積極的に支援していきたい。

合同企業説明会

10月2日、宮崎市のJ.A.A.ZMホールにおいて平成30年度第2回任期制隊員合同企業説明会を実施しました。

参加隊員は地本担当者の説明の後、午前と午後2回にわたり希望する企業のブースで仕事内容や処遇、必要とされる資格等の説明に熱心に耳を傾けるとともに自己PRを行いました。



今回の説明会では、自衛隊で学んだ規律や経験、技術を持った隊員を即戦力として採用したい企業41社が参加し、企業側から隊員を逆指名するなど、限られた時間の中ぎりぎりまで面談を行い有意義で活気あふれる説明会となりました。



元 防衛モニター

築地氏が自衛隊体操を体験

10月18日、元防衛モニターである九州築地代表取締役の築地加代子氏が来訪され屋上において自衛隊体操の体験を行いました。



初めての体験という事で、慣れない動作でしたが体をいっぱいに使った体操を行っていました。

その後、「みんなと体操をして自衛隊との距離が縮まった感じがします」と感想を述べられました。

鹿屋基地で体験搭乗

8月26日(日)、海上自衛隊鹿屋基地においてP3-Cによる体験搭乗を行いました。



当日は天候もよく、絶好の体験搭乗日和となり、参加者12名はまず、会議室で搭乗に際しての注意事項の説明を受け、ブリーフィングルームへ移動して搭乗する航空機や飛行ルートの説明を受けました。その後、航空機に搭乗する組と地上救難班見学の組に分かれ、航空機と救難班へ移動しました。

搭乗した航空機は日向市出身の黒木3佐が機長であり、同じ宮崎出身のパイロットが操縦する飛行機に乘れると、参加者は喜んでいました。搭乗すると、すぐにエンジンが起動され雲一つない空へと体験搭乗者は飛び立っていきま



地上救難班見学に分かれた組は、最新式の航空用消防車見学を行い、運転席で隊員から車の説明を受けるとともに放水の体験を運転席とホースを持つての放水を体験しました。

そして航空機が着陸し、搭乗組と地上救難班見学組が交代してそれぞれに搭乗と見学を楽しんでいました。参加者は、普段見れない対潜哨戒機や、航空用消防車を



見学でき、満足そうに基地を後にしました。

飢肥城下まつり

10月20日(土)、日南市飢肥で行われた「飢肥城下まつり」を広報班と日南地域事務所で協力しました。当日は天候もよかったです。の来場者で賑わいました。広報ブースにおいて、ミニ制服の試着とVRゴーグルを使い映像の体験を行いました。さらに都城駐屯地第43普通科連隊より、軽装甲機動車等を展示しました。



まつりのオープニングでは、武者に扮した男女が乗った馬が会場に到着し、自衛隊車両の前で記念撮影を行いました。来場者たちの歓声が湧き上がりました。



延岡・日向で防災イベント



10月21日宮崎地本は、延岡市岡富地区(延岡出張所)及び日向市大王谷運動公園(日向所)において実施された防災訓練に第43普通科連隊と共に参加しました。防災訓練においては、連携して災害救難セットの展示、パネルによる災害救助活動の展示を行いました。また第43普通科連隊が野外炊具1号を使い地元の人々、中学生と共同で炊き出し訓練を実施してカレーを美味しく作りました。食してもらおうと、皆さんから「おいしい」と大好評でした。このように宮崎地本は、自衛隊施設のない県北地域においても関係機関や地域の方々と一緒に協力できる取り組みに取り組んでいきます。

各地で音楽演奏会を開催

10月13日新富町文化会館、20日清武町文化会館において西空音楽隊、20日川南町サンA川南文化ホールにおいて第8音楽隊の巡回演奏会が開催されました。第8音楽隊は児湯郡内の中学校2校へ出向き演奏指導を行い、地域の学生との交流を図っていました。また新富町文化会館では日向学院中学校・高等学校合唱部が音楽隊の演奏に合わせて歌を披露し会場を沸かせていました。



防衛協会女性部会えびの支部 久留米駐屯地見学

防衛協会女性部会えびの支部は10月18日、久留米駐屯地において西部方面混成団の部隊研修を行いました。支部会員29名が参加し部隊の概要等の説明を受けました。昼食時には久留米駐屯地司令を囲み会話を楽しみながら和やかに会食しました。女性部会の方々はそれぞれ記念写真を撮るなど、基地見学を満喫していました。

予備自5日間招集訓練

10月19日から23日の間、都城駐屯地では今年度4回目となる予備自衛官5日間招集訓練が行われました。招集訓練は第43普通科連隊(連隊長・廣田耕士朗1永佐)が担任し、宮崎地本所属の予備自衛官86名が参加しました。訓練期間中の天候は穏やかな秋晴れが続き、絶好の訓練日和となりました。主な訓練内容は、国防意識の向上を目的とした精神教育、射撃検定及び体力検定のほか、実技では格闘訓練や心配蘇生法救急法などが実施されました。また永年勤続者表彰式が宮崎地本により執り行われ、防衛大臣表彰一名、陸上幕僚長表彰一名、地本長表彰三名が表彰されました。訓練所見では「充実した5日間だった。」「成果の得られた意義のある訓練だった。」「など好印象な所見を多く得られました。」



射撃予習

日向市お倉ヶ浜でL C A C揚陸訓練 細島港に「おおすみ」入港

10月26日(金)、日向市お倉ヶ浜において、海上自衛隊第一輸送隊のL C A Cによる揚陸訓練が行われました。



洋上において輸送艦「おおすみ」から発艦したL C A C 2艇が浜に砂煙を上げながら揚陸し、午前・午後と訓練を実施しました。

会の皆さんによる入港歓迎の挨拶に、日向市長による入港歓迎の挨拶において、毎年入港する「おおすみ」に対して「ようこそ」と言われ、入港を歓迎しました。

その後、児童による美々津げんき太鼓の披露も行われました。



「おおすみ」艦長の挨拶において、「毎年入港する日向市細島港は、もはや第二の母港」とも過言ではない」と入港歓迎のお礼を述べられました。

午後からは艦艇広報が行われ、岸壁には多数の来場者が訪れてブースにはミニ制服の試着をしようという大勢の人が集まりました。

艦艇広報時には風が強く吹く天候となりましたが、広報ブースは来場者は大きな艦を見上げながら見学を楽しんでいました。

植村本部長ご栄転



植村本部長は平成28年7月31日、宮崎地本に着任され、平成30年10月28日付で航空自衛隊補給本部総務部長へご栄転となりました。

これまでの2年3ヶ月間、数々の業務、特に平成29年度の功績による第二級賞状の受賞、宮崎県との援護協定などに尽力されました。

これまでの指導・ご鞭撻に感謝するとともに、今後のご活躍ご健康を祈念いたします。

日向高校「職業・夢講座」で講話

9月8日(土)、日向地域事務所は宮崎県立日向高校において実施された「職業・夢講座」に参加して講話を行いました。

「職業・夢講座」はキャリア教育の一環として、進路意識の高揚を図るとともに将来の進路選択に役立てるため、社会で活躍している方々を講師として招き「職業選択の課程」「仕事のやりがいや厳しさ」「社会で要求される能力やマナー」などを学生に伝えるために実施されています。



去年に続き、講師として日向地域事務所長が受講生29名に対して入隊した動機、自衛隊の任務、やりがい等について経験談を交えながら丁寧に講話を行いました。



県北に自衛隊の部隊が所在していないため、受講生の大半が初めて聞く話であり興味深く熱心に説明を聞き、自衛隊の任務について理解を深め職業の一つとして身近に感じている様子でした。

宮崎地本はホームページ以外にも情報発信をしています



自衛隊宮崎地方協力本部

検索

人事往来

【転出者】

護衛艦あけぼのへ

1等海曹

植田 謙二

(募集課広報班)

11月15日付

【転入者】

都城地域事務所

1等海曹

亀川 孝雄

(佐世保警備隊)

10月19日付



【新規採用者】

島山 文明

11月1日付

定年退官 おめでとーございませう

8月23日付
都城援護センター

9月17日付
援護課

9月21日付
援護課

10月16日付
延岡出張所長

准陸尉 矢野 英紀

陸曹長 甲斐 則光

准陸尉 中武 善行

1等陸尉 島山 文明



長年にわたる自衛隊勤務
健康に留意され、ご活躍されます
ことを祈念いたします。